

平成26年7月4日(金)

電子記帳台の導入について

- ・ 中四国の銀行では初となる「電子記帳台」を倉敷営業部、鶴形支店に導入します。
- ・ 簡単操作で自動作成された伝票は、営業店窓口事務の省力化、迅速化につながり、お客さまの待ち時間短縮が図れます。

株式会社トマト銀行(取締役社長 高木 晶悟)は、お客さまの利便性向上を図るため、平成26年7月14日(月)にオープンする倉敷営業部(倉敷本社)ならびに鶴形支店に、中四国の銀行では初となる「電子記帳台」を導入いたしますので、お知らせいたします。

「電子記帳台」とは、営業店ロビーに設置する「伝票作成システム」のことで、お客さまがタッチパネルに表示される操作ガイダンスにしたがって必要な項目を入力することで、伝票が自動で作成されます。

なお、「電子記帳台」は、グローリー株式会社(代表取締役社長 尾上 広和、本社 兵庫県)が開発した製品です。

当社は今後ともお客さま目線に立ったサービスの確立に向けて、お客さまサービス改革を進めてまいります。

記

1. 電子記帳台のサービス

電子記帳台で、預金(※)の「お預け入れ」、「お引き出し」のほか、「お振込み」、「税金・公共料金などの払込」、「両替」の伝票を自動作成することができます。

※普通預金、当座預金(お預け入れのみ)、貯蓄預金、納税準備預金

2. 電子記帳台の特徴

□ 伝票記入負担の軽減

- ⇒ お客さまの伝票記入のご負担を軽減し、ガイダンスに従って入力することで記入もれがなく、正確に記入された伝票を自動作成することができます。
- ⇒ 連続取引機能により、口座番号や署名の再入力を省略して複数枚の伝票を作成することができます。

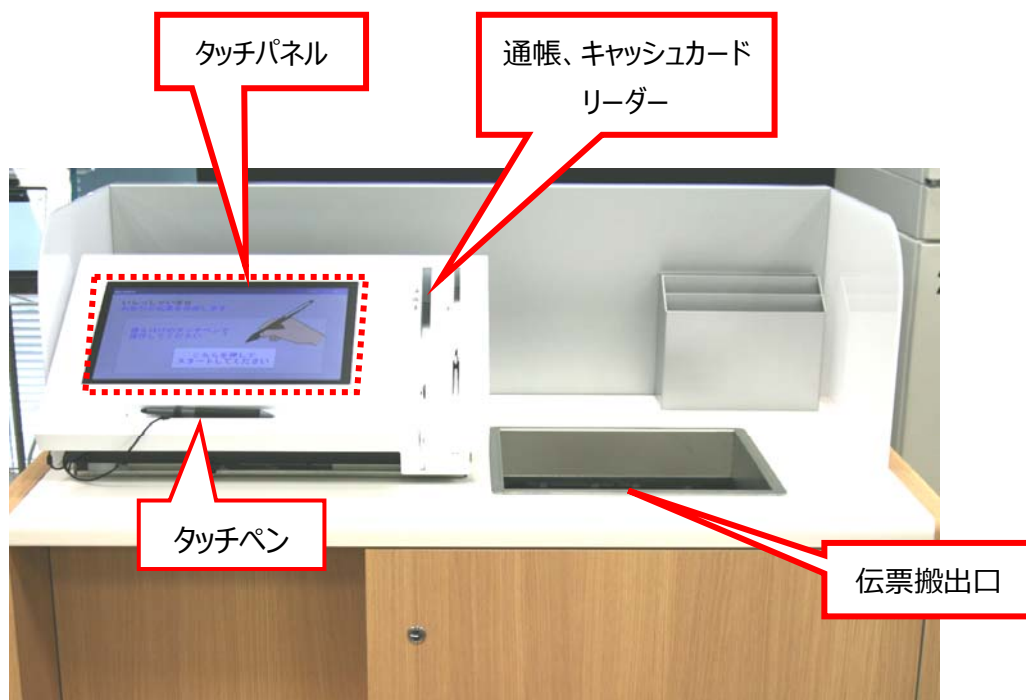
□ 入力が容易、操作が簡単

- ⇒ お客さまのご署名を専用のタッチペンで画面に直接記入することができ、その筆跡が伝票に印刷されます。
- ⇒ お客さまの預金種類、取引店番、口座番号は、通帳やキャッシュカードを記帳台のリーダーで読み取り、入力できます。
- ⇒ タッチパネルに配置された大型のボタンにより操作ができますので、ご高齢のお客さまにも簡単にご操作いただけます。

□ お客さまの待ち時間短縮

- ⇒ 自動作成された伝票の活字印字は、営業店窓口社員の入力作業を省力化、迅速化させることから、お客さまの待ち時間短縮が図れます。

<電子記帳台>



以 上

本件に関するお問い合わせ先 経営企画部(広報担当) 藤岡・俣野 TEL 086-221-1057